

From Students

三重大学図書館

ラーニング・ commons の秘密 🔑

新しい学びの可能性を生み出す共有空間として注目されている「ラーニング・commons」三重大学附属図書館では1階の大半をこのラーニング・commonsとして提供していますが、皆さんは活用していますか？
今回はこのスペースの秘密を紹介したいと思います！

その1 様々な形のテーブル



パズルのように組み合わせ可能な台形テーブルは70台以上！
他にもエリアにより色や形の違うテーブルをご用意。皆さんのニーズに合わせて選ぶことができます。

PCスペースとコンセント

PCスペースには約20台のPCがあり、誰かと作業をする時に便利な配置になっています。またコンセントタップも4口のものが4つあるので、自分のPCを使うこともできます！



その2

その3 プロジェクター



セッティング済みの2台を誰でも使うことができます。パソコンの画面を壁に映すことができるので、発表の練習などにも最適！
説明書もあります。

実は…

プロジェクター操作のPC貸し出しも行っていきます！
(インターネット接続はできません)
※貸出カウンターに請求してください。

ホワイトボード

縦長のホワイトボードを約10枚置いてあります。裏表両面に書くことができます。またキャスターがついているので、自分の使いやすい場所へ持っていったり複数枚並べて使うことも可能です！



その4



※このページはインターンシップの一環で橋本さんが原案を作成しました。ありがとうございました。

図書館からの質問

- ①簡単な自己紹介をお願いします。
- ②印象に残った仕事、おもしろかった仕事があれば教えてください。
- ③図書館の仕事を体験して、これまで持っていた図書館のイメージと違っていただけたところがあれば教えてください。
- ④感想をお願いします。



- ①筑波大学 情報学群(知識情報・図書館学類)3年 橋本昌枝です。
図書館に関する分野はもちろん、知識の伝達や取得に関する学問など幅広く学んでいます。私の中でも検索システムやプログラミングといったシステム系の分野を専攻としています。
- ②機関リポジトリへの登録作業は本を裁断したり、メタデータを自分で付与したりと何かと緊張するシーンが多く印象に残っています。また、様々な仕事の中で図書館のシステムを使う場面があり、データを呼び出したり他の図書館とやりとりしたりということがほぼすべて1つのシステムでできるのがすごい、と思いました。
- ③今までは、図書館で働く全ての人がカウンター業務から図書の受け入れまで色々な仕事を行うイメージでしたが、実際には思っていたよりかなり細かく仕事が分担されていて、それぞれ専門にしているものがあり驚きました。また、実際に業務をしてみると思っていたよりも体力が必要な仕事であることを実感しました。
- ④11日間という限られた期間で、書庫整理から図書・雑誌受け入れ、カウンター業務などたくさんの業務を体験させていただいて、今まで知ることのできなかった大学図書館で働くことの魅力を知ることができました。本当にありがとうございました。

